

＜シンポジウムのご案内＞

大エジプト博物館ツタンカーメンの秘宝の謎

—科学的調査で明かされた新発見を初公開！（9/1）—

国際協力機構（JICA）は、日本国際協力センター（JICE）、東京藝術大学と共催で、9/1（日）に、京都にて「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクトシンポジウム—ファラオの至宝をまもる2019」を開催します。

本プロジェクトは、ツタンカーメン王の墓から出土した儀礼用戦車や儀礼用ベッド、チュニックや下着といった王の服飾品をはじめ、ツタンカーメン王よりもさらに時代を遡った約4000年前の壁画といった、第一級の遺物の調査、移送、保存修復を日本人専門家が大エジプト博物館のエジプト人専門家と共同で実施しているもので、プロジェクトを通じて学術的に新しい発見がなされています¹。

こうした共同プロジェクト実施の背景には、約10年にわたり継続してエジプトを支援してきた日本との信頼関係があります。JICAは2008年より大エジプト博物館保存修復センターに対し、文化財の保存修復に関するレプリカを用いた研修をはじめ、最先端の分析装置を用いた研修を実施してきました。そして、2016年より、本物の文化財遺物を対象とした「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」がスタートしたのです。

本シンポジウムでは、科学的調査によって明らかとなった新発見をはじめ、普段はあまり目にする機会のない貴重な文化財保存修復の現場の裏側について、第一線で活躍する専門家から最新の研究成果も交えて報告します。また大エジプト博物館保存修復センター長のフセイン氏も特別に登壇予定です。専門家が集まる貴重な機会に、ぜひご取材を検討ください。

現場に精通したJICA専門家やフセインセンター長への個別取材も可能です（日・英通訳付）

取材をご希望の方は、8月28日（水）までに、以下までお申し込みください。



【本件に関する問い合わせ先】

JICA 社会基盤・平和構築部 都市・
地域開発グループ第二チーム

北松 祐香

TEL : 03-5226-8143

E-mail : Kitamatsu.Yuka@jica.go.jp

¹例えば、ツタンカーメン王の戦車については、デジタルマイクロスコープ等を用い、初めて木材の組織構造を観察することに成功しました。また、木材の樹種同定調査によって戦車に使用されていた木材が判明し、エジプトには自生していなかった希少な木材を輸入して製作されたものであったことが判明しました。さらに、王の服飾品については、その材質技法に関する最新の研究成果があげられるなど、ツタンカーメン王の秘宝の謎が着々と紐解かれています。

<シンポジウム概要>

1. 日時：2019年9月1日（日）13：00～17：00（開場12：30）
2. 場所：TKP京都四条烏丸カンファレンスセンターホール2A
（京都市下京区仏光寺通室町東入釘隠町247番 コーエーレオ 2F）
3. プログラム 司会：岡田靖（東京藝術大学 テクニカル・チーフ・アドバイザー）

時間	プログラム
13:00-13:05	開会の挨拶（JICA）
13:05-13:20	JICA 講演 JICAによる博物館支援事業 北松祐香（JICA 社会基盤・平和構築部 都市・地域開発グループ）
13:20-13:50	基調講演 大エジプト博物館における文化遺産保護のためのエジプト・日本の協力 フセイン・カマル（大エジプト博物館 保存修復センター長） ※日英同時通訳あり
13:50-14:20	講演1 対象とする古代エジプトの至宝の魅力 河合望（金沢大学 新学術創成研究機構 教授） 西坂朗子（プロジェクト副総括 JICE/東日本国際大学 エジプト考古学研究所 客員教授）
14:20-14:30	休憩10分
14:30-14:45	講演2 古王国マスタバ墓のイニ・スネフェル・イシェテフ壁画の科学的調査と修復材料 谷口陽子（筑波大学 人文社会系 准教授）
14:45-15:00	講演3 古王国マスタバ墓のイニ・スネフェル・イシェテフ壁画の移送と保存修復処置 増田久美（増田絵画修復工房 保存修復専門家）
15:00-15:15	講演4 ツタンカーメンの服飾品の材質技法と保存 石井美恵（佐賀大学 芸術地域デザイン学部 准教授）
15:15-15:30	講演5 ツタンカーメンの服飾品展示用マウントのデザイン 柴田みな（建築専門家）
15:30-15:45	講演6 ツタンカーメンの戦車と儀式用ベッドの科学調査Ⅰ -X線から分かる構造と曲げ木- 栗本康司（秋田県立大学木材高度加工研究所 教授）
15:45-16:00	講演7 ツタンカーメンの戦車と儀式用ベッドの科学調査Ⅱ -樹種同定から分かる木材利用- 大山幹成（東北大学植物園 助教）
16:00-16:10	休憩10分
16:10-16:55	パネルディスカッション：「大エジプト博物館と日本の協力の未来像」 モデレーター：宮代栄一（朝日新聞社 編集委員） パネリスト：フセイン・カマル（大エジプト博物館 保存修復センター長） 黒河内宏昌（東日本国際大学エジプト考古学研究所教授/第二の太陽の船復原に係る技術支援総括） 松永久（三菱総合研究所シニアコンサルタント/大エジプト博物館運営・展示プロジェクト 副総括） 坪池明日香（JICA社会基盤・平和構築部 都市・地域開発グループ 課長） 中村三樹男（大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト 総括）
16:55-17:00	閉会の挨拶 中村三樹男（大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト 総括）

4. 主催: 国際協力機構(JICA)、日本国際協力センター(JICE)、東京藝術大学
後援: ICOM京都大会2019組織委員会、国際博物館会議エジプト学国際委員会(CIPEG)、文化財保存修復学会、日本オリエント学会、日本西アジア考古学会、日本エジプト学会、朝日新聞社
5. 参加費: 無料

【取材可能な関係者】



フセイン・カマル(大エジプト博物館 保存修復センター長)
文化財の分析調査、修復ラボの技術的管理、予防保存のスペシャリスト。「大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト」では、72点の対象遺物の梱包移送、診断分析調査、保存修復活動を実施するエジプト側プロジェクトマネージャーとして従事している。



西坂朗子(JICE 大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト 副総括/東日本国際大学 エジプト考古学研究所 客員教授)
早稲田大学在学中より現在まで長年、エジプトの発掘・修復プロジェクトに多数携わっており、本プロジェクトではエジプト側との交渉を担うマネジメント副総括としての業務に加え、壁画の保存修復にも従事しているエジプト学のスペシャリスト。

【関連リンク先】

- ・ 東京藝術大学国際文化財修復プロジェクト室 「シンポジウム開催案内」
<http://geidai-icchc.geidai.ac.jp/>
- ・ 大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト
<http://www.jicagem.com/?lang=ja>
- ・ JICA 広報誌「mundi」2018年7月号 「文化と歴史がつなぐ新しい観光の軸」
<https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1807/ku57pq00002aibma-att/04.pdf>
- ・ 大エジプト博物館建設事業(第二期)(円借款)
<https://www.jica.go.jp/oda/project/EG-P40/index.html>
- ・ 大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト(GEM-CCプロジェクト)
<https://www.jica.go.jp/project/egypt/0702247/index.html>
- ・ GEM-CCプロジェクトのあゆみ - JICA (PDF)
https://www.jica.go.jp/project/egypt/0702247/materials/ku57pq00001uuncu-att/GEM-CC_ja.pdf